

沙 流 川

保護者向け校長通信

NO. 12

発行日

令和5年12月8日

教職員の「働き方改革」Part3

本校における働き方改革の取組については、ご理解いただけたでしょうか。これからの時代の学校のあり方や教育活動の意義等が、大きく変わっていく時代を迎えています。ここ、日高町立富川小学校だけの取組ではなく、全国各地で取り組まれていますし、学校だけではなく、一般企業や会社でも情報機器を活用した「働き方改革」を推進しています。

学校は、児童数や学級数によって、職員の人数配置が、規定により決められています。例を挙げると、「児童が35人までは、1学級で、36人になると2学級になる」と言うことです。ですので、学級数が6学級であれば、6人の職員の配置となります。

富川小学校は、これまで、学級数が10学級以上ありましたので、職員の人数も、それなりに多く、学校行事などの教育活動の担当も、その当時の計画で進めることができました。これからは、児童数が減少することは間違いないので、「働き方改革」の視点からも、職員の業務負担軽減を念頭に置きながら、充実した学校の教育活動を展開していけるように、改善を図っていく必要があると感じています。

そのためには、学校職員は勿論ですが、保護者、地域の方々の意識改革も必要だと考えています。今年度、富川小学校では「学校ボランティア」を募集し、皆様にご協力をいただいたところです。本当に感謝しております。始めたばかりですし、それぞれ、お仕事もあり、時間の調整が難しいとは思いますが、こういったことも、職員の業務軽減に役立っていることをご承知おきください。

今年度ボランティアで協力いただいた内容を載せる。

- 水泳学習の見守り（プールサイドから、子どもたちの安全を見守る）
 - 新体力テストのお手伝い（記録測定のご協力）
 - ベルマークの仕分け作業（ベルマーク委員のお手伝い）
- 〈今後の予定〉
- スケート学習（授業の補助：苦手な子どもへの支援）

子どもを見守る目が多くあるということは、子どもたちが、安心して教育活動に取り組むことができるということです。この「安心感」とともに、励ましの言葉やお褒めの言葉をかけていただくことで、子どもたちの自己有用感を高めることにもつながっていきます。みんなで、子どもたちを育てていくという「組織的・協働的」な教育活動が行われる学校を創っていくきっかけにしていきたいと考えております。

「富小の子は、富川で育てる！」という共通の認識をもつ中で、お互いに連携を密にしながら、成長する子どもたちを見守り、励ましていただけたら幸いです。開校150周年の節目を迎えた富川小学校に対するご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。